

## 北杜市食育地産地消推進協議会 会議録

(1) 会議名 令和元年度第2回北杜市食育地産地消推進協議会

(2) 開催日時 令和元年12月23日(月)18:00から

(3) 開催場所 西館2階会議室

(4) 出席者 (委員) ※順不同、敬称略

農)白州鳥原平 理事	渡辺 陽一
清春農産物直売所 代表	高橋 勝彦
八ヶ岳ヤーコン組合 代表	原 誠
北杜市商工会 会長	輿水 順彦
北杜市フードバレー協議会 会長	梶原 雅巳
北杜市代表区長会 会長	齋木 和茂
北杜市消費者生活研究会 会長	草野 香寿恵
北杜市社会福祉協議会 会長	利根川 昇
北杜市食生活改善推進員協議会 会長	五十嵐 咲子
北杜市保護者連合会 会長	三井 紀子
山梨県県民生活部消費生活安全課 課長	塚原 理宏

### (事務局)

商工・食農課 課長	日向 勝
商工・食農課 食育地産地消担当	長坂 恵一
商工・食農課 食育地産地消担当	堀内 健
健康増進課 栄養指導監	佐藤 悦子

### 委任状(委員)

北杜市農業委員会 会長	馬場 君忠
(有)清里ミルクプラント 代表	小清水 八市
有限会社 横内製麺 代表取締役	横内 正弘
梨北農業協同組合 組合長	新海 毅
北杜市立塩川病院 院長	都倉 和彦
北杜市立甲陽病院 院長	飯塚 秀彦
北杜市歯科医師会 会長	岩下 正二
北杜市母子愛育会 会長	三井 勇
北杜市PTA連合会 会長	矢崎 敏明
北杜市保育園園長会 会長	小泉 修子
山梨県大学教育人間科学部 教授	時友 裕紀子

北杜市市民部 部長	浅川 辰江
北杜市福祉部 部長	伴野 法子
北杜市教育委員会教育部 部長	中山 晃彦

欠席者(委員)

八ヶ岳やさい倶楽部 代表	高橋 康郎
農) 営農たかね 理事	清水 茂
武川町農産物直売センター	宮坂 直治
梨北農業協同組合販売直販課 課長	渡部 悟

(5) 議 題

1. 第2次食育・地産地消推進計画(案)について
2. その他

(6) 審議内容

開会

事務局 → 出席委員は29名中11名、委任状の提出14名となっており本協議会設置要綱第7条第2項の定足数を満たしている。

1. 開会のことば 草野副会長
2. 会長あいさつ 原会長
3. 商工・食農課長あいさつ 日向商工・食農課長
4. 議事録署名委員選出

事務局 → 第1回会議において、議事録署名委員は出席委員の中から名簿順に選出することになっているため、渡辺陽一氏、興水順彦氏にお願いする。

5. 議事

事務局 議長選出。会議の進行は設置要綱第7条により会長が行うと規定されている。

議長 議案1 第2次北杜市食育地産地消推進計画(案)について、事務局に説明を求む。

事務局 第2次北杜市食育地産地消推進計画(案)、第1章を説明。

議長 第1章について質問、意見はあるか。

委員 特になし。

議長 第2章について、事務局に説明を求む。

事務局 第2章を説明。

議長 第2章について質問、意見はあるか。

委員 10ページの農業の状況について作成中とのことだが、現在農林業センサスの調査年度の期間中である。最新のデータが反映できるようならば取り込むようにしてもらいたい。

事務局 了解した。

議長 第2章について他に質問、意見はあるか。

委員 朝食を欠食する市民の割合についてだが、成人の欠食はなんとなく理解できるが、子どもが朝食を欠食する原因は分かっているのか。子どもの意思でということもないと思う、親が作らないのか、貧困によることなのか、原因を把握しているか。

事務局 年長児のアンケート結果については、親子食育教室の場で調査を行っている。お友達の子の親もいる状況の中で、深い内容の回答を得るのは難しい状況で把握できていない。

委員 親の都合で、「食べていかない」、「食べていけない」子どもがいるように思えるが。

事務局 今後は、子どもが朝食を欠食する理由が把握できるようアンケートなど工夫しデータを取っていきたい。

委員 小中学生が食べていかないというのは非常に良くないこと。

事務局 小学校6年生に聞き取りをしたところ、「食べたくないから」という子どもはいた。6年生ぐらいになると自分の意思で食べないという子どももいるが、作ってくれないという子どもはいなかった。「朝、忙しい」と回答した子どももいた。

委員 朝、起きるのが遅いということ。

委員 夜眠るのが遅いからでは。

事務局 子ども達に「どうしたら、みんなが朝食を食べるかな」と質問したところ、「学校で食べさせてくれればよい」という回答があった。

委員 貧困によって食べられないという子どもが、北杜市にどれくらいいるということも関係部署が連携し、情報を得て支援に継ながるようにする必要がある。

委員 貧困が原因だとしたら、家庭からは、なかなか情報は出てこない。そこは外から支援していく必要があると思う。

議長 その他、ありますか。

委員 第2章5の「ボランティア」に、消費生活研究会も加えてほしい。

事務局 加えるよう、所管課の総務課と調整する。

委員 農業体験のアンケート結果について、家庭菜園等をやっている方もいると思うが、どのように数字を捉えたらよいか。

事務局 アンケートの別の質問で「体験」では無く、「実労働として農業」を行っ

ている方が54.5%であった。

**委員長** アンケート項目の「食の知識をもっているか」との質問項目は、非常に抽象的で分かりにくい。どの程度の知識を聞いているのか。

**事務局** 難しいことではなく「食べられるか」「食べられないか」など、一般的に簡単な知識を質問している。

**会長** 第3章について、事務局に説明を求む。

**事務局** 第3章及び第4章について説明。

**議長** 第3、4章について質問、意見はあるか。

**委員** 第4章の7ボランティア団体の支援に消費生活研究会を加えて欲しい。

**事務局** 組み込めるよう所管課の総務課と調整する。

**議長** 第5章について説明を求む。

**事務局** 第5章について説明。

今後は定期的な評価、見直し等を確実に実施していきたい。

**議長** 第6章について説明を求む。

**事務局** 第6章について説明。

**議長** 第6章について質問、意見はあるか。

**委員** 子どもの欠食の原因について、格差社会が問題となる中、貧困の問題は外すことは出来ない。学校で食べさせる。地域で食べさせる等、行政でやっていかないと0%は達成できない。また、外国人の割合は把握しているか。ムスリムの方だと食べたくても、食べられないケースもあるので、原因・理由の把握は必要。

学校給食の地産地消率の計算が、重さで換算とのことだが、金額で出した方が分かりやすい、供給側もどれだけ地域に貢献しているか把握しやすいのではないか。

**事務局** 子どもの朝食の欠食原因については、福祉部局の担当から情報を得たいと思う。また、学校給食の地産地消率の金額での算出方法については学校給食課と協議する。

**委員** 学校給食の地産地消率を正確に出すには、金額ベースで出すべきだと思う。生産者の都合から言うと、イモ類などストックできるものは供給しやすい。しかし、毎日収穫する「きゅうり」のような食材では、給食へ提供するために、農家が常時出荷している出荷先を休まないと出来ない。抜本的に変えなければ、率の向上は難しい。

**議長** 事務局は意見をまとめ、取り込めるものは加えられるよう整理してほしい。議案2、その他について説明を求む。

**事務局** 添付した資料の説明。今後のスケジュール説明。

**議長** その他について質問、意見はあるか。

**委員** 特に無し。

**議長** 県の立場からアドバイスはないか。

委員 県でも来年度4次計画を立てる。県の計画も参考に今後も計画の改訂等行って欲しい。

計画の表現の仕方だと思うが、PDCAサイクルの流れと、計画の中で重点とする部分が書類から見えにくいので、書き方の工夫が必要ではないか。

また、現計画の評価が、どの基本方針に対する評価なのか分かるよう表現すると良い。なお、食品ロスの削減の推進に関する法律が制定され、市町村にも計画策定の努力義務がある。別計画ではあるが、何かしら触れておくと良い。

会長 他にないか。

委員 特に無し。

事務局 特に無し。

会長 会議を終える。

## 6. 閉会のことば 梶原副会長

閉会

※時に19時35分